

掲載論文の取り消しについて

本誌に掲載された研究論文に対して、以下に述べる2件の事案が発生し、いずれについても2015年6月6日付で「取り消し」の処置をおこなった。外国語学部紀要・図書編集委員会は、今回の事態を深刻に受け止め、関係各位に対して謝罪をするとともに、以下に述べる再発防止策に全力で取り組むこととする。

【取り消し事案1】

本誌第10号、第11号、第12号に掲載された以下の「研究論文」3編に対して、2015年4月4日に著者自身から、内容に不備があることを理由に取り下げの申請がなされた。

著者	論題	刊行年	巻号	掲載ページ
西川和男	前置詞'在・跟・从・给'の教授法について	2014年	10	83-98
西川和男	否定副詞'不'と'没(有)'の教授法について	2014年	11	1-14
西川和男	助動詞の教授法について	2015年	12	1-10

外国語学部紀要・図書編集委員会では、この申請を受けてこれらの「研究論文」を精査した結果、以下の3点に及ぶ重大な不備が確認されたので、当該3編の「研究論文」を取り消す決定をした。したがって、既に配布された本誌第10号、第11号、第12号に掲載された当該「研究論文」は、取り消し扱いとなっている。

- (1) 3編の論文は、「研究論文」としてオリジナルな議論を展開することを論文の冒頭で宣言している。しかしながら、そのような知見や展開が見られず、参考文献の訳出に終始しているので「研究論文」とみなすことができない。
- (2) 参照元に関しては明示されているが、訳出された箇所が正確に分かるようにページ番号を示すなどの学術論文としての適切な体裁がとられていない。
- (3) 訳出箇所が多いため、著作権の適正な取り扱いに関して問題がある。

【取り消し事案2】

本誌第12号に掲載された以下の「研究論文」に対して、外国語学部紀要投稿規定に違反しているのではないかとの疑義が生じたため、外国語学部紀要・図書編集委員会で審議をおこなった。

著者	論題	刊行年	巻号	掲載ページ
森貴実代	『菊と刀』の翻訳に関する一考察：「恩」、「義務」、「義理」の日本語訳、韓国語訳をめぐって	2015年	12	11-43

その結果、以下の投稿規定に違反する行為が確認されたので、当該の「研究論文」を取り消す決定をした。したがって、既に配布された本誌第 12 号に掲載された当該「研究論文」は、取り消し扱いとなっている。

当該「研究論文」は、外国語学部専任教員である福井七子教授を第一著者、外国語学部専任教員ではない森貴実代氏を共著者とする共著論文として「執筆申込み」が提出され、編集委員会が投稿を許可した。しかし、掲載された当該「研究論文」は、共著論文とは言えず、森貴実代氏による単著論文であると認められる。外国語学部紀要投稿規定では、編集委員会が許可した特別な場合を除いて、外国語学部専任教員が第一著者でなければならないとの規定があるが、当該「研究論文」はこの規定に違反する。

【今後の対応】

今回の事態を受けて、外国語学部紀要・図書編集委員会としては、提出された原稿が、a) 外国語学部紀要投稿規定、b) 学術論文としての体裁、c) 研究者倫理、の 3 つを順守しているかどうかの確認をこれまで以上に厳重におこなうことで、再発防止に全力で取り組む。

外国語学部紀要・図書編集委員会 委員長

2015 年 6 月 3 日